

タイで減災意識啓発教育「結」プロジェクト出前授業を実施しました(2018/11/20-11/22)

テーマ：東北大学災害科学国際研究所

URL：<http://www.mext.go.jp/joho-hiroba/sp/index.htm>

2004年12月に発生したインド洋津波からまもなく13年目を迎えるタイ王国プーケットの Ban Kalim School において、「結」プロジェクト出前授業を実施しました。この小学校を訪問するのは4回目ですが、学校の校庭の前が海岸という立地から、児童に、津波災害に備えた避難行動を考えさせる教育は必須項目だと考えられています。1年生から6年生まで約100名が参加して、津波メカニズムを学習する座学と、生きるカゲームタイ王国バージョンに挑戦しました。どの児童も熱心に自分の行動を考えながら回答していました。

バンコクの Sinakharinwirot Prasanmit University Demonstration Secondary School は、洪水の被害が考えられる地域にあるので、洪水のメカニズムを学習し、洪水時の行動を考える生きるカゲームタイ王国バージョンに挑戦しました。児童数は230名と大人数でしたが、どの児童も熱心に授業に参加しました。授業には Sinakharinwirot Prasanmit University のボランティア学生8名がファシリテータとして参加しました。東北大学からは、工学研究科津波工学研究室学部4年生の榎谷さんと修士2年生の大竹さん、サッパシー・アナワット准教授（災害リスク研究部門）、野内類准教授（加齢医学研究所）、保田真理プロジェクト講師（寄附研究部門）が参加しました。



津波や洪水のハザードに関する授業



生きるカゲーム



減災ポケットと児童



出前授業風景（プーケット）